

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 (初中教育ニュース (初等中等教育局メールマガジン掲載))

【第10回】

様々な体験ができる放課後子ども教室

『西祖谷子ども育成塾』の活動

徳島県三好市立櫛生(いちう)小学校長 吉田 美千代

三好市立櫛生(いちう)小学校は徳島県西部の四国山地の中にあり、海拔330メートルに位置しています。本校のある三好市西祖谷山地域は、美しい山々に囲まれ、奇橋として有名な吊り橋「祖谷のかずら橋」と平家落人伝説の残る地域として、大自然や秘境の風情に惹かれて多くの人が観光で訪れる場所です。

通学域が広範囲なため、ほとんどの児童が放課後も夕方5時前後まで保護者の迎えを待ちます。その時間を活用して、様々な体験活動を取り入れた「西祖谷子ども育成塾」が放課後子ども教室として、主に学校の体育館で実施されています。

「西祖谷子ども育成塾」は、コーディネーターを中心に約10名の地域の方々が学習アドバイザーや安全管理者となって関わり、子どもたちが参加したい時に自由に参加し、文化に触れ、新しいことに挑戦し、楽しく活動することを目的として運営されています。

活動内容は、日常的な活動に加えて、普段経験できないような特別体験活動も取り入れられることがあります。その一部をご紹介します。

<日常的な活動>

茶道教室、襖絵制作教室、伝統芸能(民謡、民舞)継承活動、加-リソグ教室、自主学习、自由遊びなど

<特別な活動>

国際交流活動

韓国の舞踊や水墨画の名手を招き、その実演を見学したりお話を聞いたりして交流を深める。

各種達人の技の見学と体験

独楽回し、ハモカや琵琶、箏の演奏などの名人技を見学したり、体験したりする。

その他の活動

絵本の読み聞かせ、歌遊びなど

いずれの活動も、コーディネーターさんがたいへん熱心に取り組んでくださり、多方面にわたって講師や学習アドバイザーを発掘され、多様な活動を計画してくださっています。大都市の文化圏から遠く離れている地域ですが、そこに負けない文化的な活動を放課後子ども教室で体験することができます。本校の児童は、この教室で豊かに育成されていると感じている毎日です。

(初中教育ニュース (初等中等教育局メールマガジン) 第102号に掲載)